

平成24年度 高知県豊かな環境づくり総合支援事業費補助金【採択事業一覧】

番号	事業名	事業概要	申請者	実施場所	実施期間
1	シンポジウム「四国の自然はいま2012」	四国の生物について、過去10年の間に四国内外の研究者によって解明されてきた最新の知見を広く県民に対して提供し、「四国の自然」に関して興味を喚起するとともに理解を促進し、これからの地域生態系保全と人と野生生物との共存について考えるきっかけを提供する。	NPO法人 四国自然 史科学研 究セン ター	高知大学	H24.7.1 ～ H25.1.31
2	住まいと住まい方 省エネのくらし提案事業	夏の省エネの対策やくらし方が与える影響を調査し、結果を分かりやすく「見える化」することで、県民の省エネ対策を促進する。特に高知県産材や風土を生かした住まい、風や植物による効果などについての調査を行い、新築・リフォーム時に活かせる講座を開催する。また、子どもたちが自ら考え行動に移せるように、学校や周辺の「熱」の状況を調べることで、省エネの取組みを考えられるようなワークショップを実施し、省エネのくらし方を認識してもらう。	くらしを見 つめる会	こうちエコ ハウス等	H24.7.10 ～ H25.3.31
3	太陽光発電普及啓発事業(ハッピーソーラーユーザー「喜びの声」キャンペーン)	地域電器店等より太陽光発電を導入したユーザーに対し、「良かった」という喜びの声をコンテスト形式で公募し、その省エネ効果(喜びの声)等を広く県民に訴求告知する。	高知県電 機商業組 合	高知県内	H24.7.1 ～ H24.10.31
4	安田川自然再生事業	安田川では、生活排水による水質の悪化や瀬・淵の消失、水辺の生物やアユの漁獲量も減少している。また、地球温暖化の影響等による水量の減少など、清流を誇った安田川もその姿を大きくかえつつある。そのため、安田川の清流再生に向けた総合的な取組の一環として、地域や関係機関を対象に環境学習を実施し、環境保全に関する意識を高め、併せて安田川自然再生計画において、改善検討箇所へ近自然工法による水制工の設置による、河川(淵・瀬)の変化(効果)と魚類調査の結果を継続的に町内外に啓発することにより、安田川への関心と地域住民の意識の高揚を図る。また子どもたちの自然環境の学習の場として活用することにより、交流人口の拡大と世代を超えた清流再生活動を推進する。	安田町	安田川	H24.8.1 ～ H25.3.15
5	鏡川自然塾運営事業	高知市を流れる鏡川とその流域を、高知を代表する自然環境としてとらえ、その現状を科学的に把握するとともに、環境(自然)学習活動を通じて自然の仕組みを科学的に理解し、調査し、記録する市民を育てる「鏡川自然塾」を運営する。 塾の運営に当たっては、大学・研究団体、行政、市民が協働して実施することを基本に置き、それぞれの代表者からなる「鏡川自然塾運営委員会」が役割を果たす。そのことにより、大学・研究機関、行政、市民との協働で地域の自然の現状を明らかにするという新しいスタイルの取り組みのモデルを作ることができる。 鏡川自然塾は、市民にとっては地域の自然を体系的に学べる場であり、また、鏡川と流域の自然に関心を持ち、その保全のために活動する市民を育てる場となる。	NPO法人 環境の杜 こうち	高知市	H24.7.1 ～ H25.3.31
6	平成24年度奥田川親水公園整備事業	仁淀川の支流の奥田川には、絶滅危惧植物の「ベニオグラコウホネ」「ナガエミクリ」が生息しており、その保護活動を促進するとともに、隣接する伊野南小中学校を核とした地域コミュニティにより、地域の財産を慈しみながら河川環境教育学習野庭の充実を図るため、観測広場、多目的広場、園芸広場を整備し、また花や果樹の植栽、ベンチ、木材を用いた遊具等を設置し、地域住民による温かみのある公園を整備する。	いの町	いの町八田	H24.11.20 ～ H25.3.31
7	第2回宇治川の水質浄化とヘドロ除去に伴うEM泥だご投入事業	仁淀川支流宇治川で、河川の水質浄化とヘドロ除去を目的に、地元住民やいの町、土木事務所等の協力を得て、EM泥だごを投入する。	地域の環 境を守る ECOクラ ブ	いの町宇治 川	H24.10.10 ～ H25.3.30